

# ストーリーボード



私たちの提案する新しい地域医療の体制を、「ひとつのストーリー」に沿って説明します。主人公は、未来大学3年生の「椎名理雄」21歳、男性です。彼は、最近安静時に胸に軽い痛みを感じ始めます。新しい地域医療体制における、病院探しから、診療、院外治療までのストーリーです。

## 主人公のプロフィール



椎名理雄さん

椎名理雄

- ・年齢：21歳
- ・性別：男性
- ・職業：学部 3年生 165cm 70kg
- ・家族構成：45歳の父と、44歳の母
- ・住所：函館市 白鳥町
- ・活動：ご飯を食べるのが大好きです。毎日、友達と一緒に外食に行きます。一日で、だいたい3本くらい喫煙します。スポーツは、苦手です。

## 狭心症とは

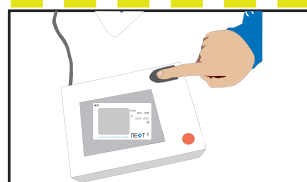
血液の内側に（コレステロールなどの）脂肪分がたまると、徐々に血液が流れにくくなります。そこから、心臓の筋肉にうまく血液がうまく血液が流れない状態を虚血状態といいます。その虚血状態が急におこって、10分以内で、回復するものが狭心症です。

## ストーリーライン



椎名理雄さんは、安静時に時々、胸部に軽い痛みを感じ始めます。痛みを、何度も感じるようになり、病院へ行こうと考えました。そこで、医療情報案内システムで、病院を探すことにしました。

### シーン 01: システムにログイン



病院を探すために、次世代個人認証カードと指紋認証を併用して、地域医療システムにログインします。

### シーン 05: 次回予約と料金支払い



帰り際に、次世代個人認証カードを病院専用の端末に挿入します。カードのe-paper部分に、予約情報などの次の診察までに必要な情報が書き込まれ、同時に、診察料金の支払いも行います。

### シーン 02: 病院を探し、予約する



医療情報案内システムで自分の希望に合った病院や医師を探します。病院を見つけたら、問診をおこない、予約します。

### シーン 06: 指示書を用い情報を調べる



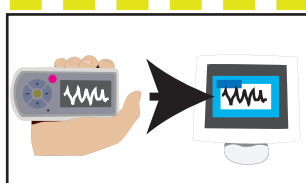
帰宅後、指示書で医師からの指示を確認します。MIGを読み取り、次回予約アラームの設定と、より詳しい情報を調べます。

### シーン 03: 予約した病院に着く



到着後に次世代個人認証カードを病院専用の端末に挿入し、受付をすませます。その時、カードのe-paper部分に、待ち番号など病院内で必要な情報が書き込まれます。

### シーン 07: 日々の健康記録をとる



指示書の指示に従い、毎日、心電図を記録し、その健康記録は個人情報DBへと転送されます。

### シーン 04: 診察を受ける



診察の結果、「狭心症」と診断されます。今後は、自宅で診察を受ける事になり、診察後に指示書を渡されます。

### シーン 08: 遠隔診療を受ける



次の予約日になったらアラームメールが届き、WEBカメラと、日々の健康記録を用いて遠隔診療を受けます。